



栄小学校だより

令和4年12月21日(水) No.34

○寒い日が続きます。

12月「師走」も早いもので残り2週間を切りました。気がつけば、令和4年2学期もあと2日の登校で終わり、冬休みとなります。

ある寒い日の朝(19日)、登校中の子どもが登校中に見つけた氷を大事に持っていました。(あまり衛生上きれいとは言えませんが・・・) 普段の生活と違う気づきの中、「みて、みて!見つけたよ!」と報告をしてくれました。慣れ親しんだ通学路も少しの環境の変化で学びに変わります。とても、微笑ましい気持ちとなりました。

これからもっと寒い日々が続きますので、風邪などを引かないようにご自愛ください。天気予報では、25日は、少し雪がチラつくとのことでした。

○アニメーションが開催されました!(6年)

今年も12月13日(火)、6年生が学校読み聞かせボランティア運営の「アニメーション」に参加しました。このアニメーションは、読書の楽しさを伝えるとともに読む力を引き出すためのグループ参加型の読書指導メソッドのことを言います。

今年も、小雨が降る中でしたが、ボランティア21名の方にご協力いただき、栄公民館、プール更衣室、家庭科室、体育館、図書室をフルに使い、体験をしました。

内容は・・・秘密です。ごめんなさい。(6年生になってからの楽しみです。)

参加した6年生からは、「良かった!」「楽しかった!」などの声が多く聞こえました。運営をしてくださったボランティアのみなさん、並びに運営金をご協力いただいた栄小PTAに感謝申し上げます。



○CTL と年末の交通安全県民運動

12月12日(月)、朝7時30分~8時20分に、鈴鹿市の主要箇所にて「CTL活動」を行いました。この活動は、三重県の「年末の交通安全県民運動」に伴い、市・市議会・警察署・交通安全協会・PTA等の連携のもと、早朝街頭活動を実施することにより、市民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図り、地域が一体となった交通事故防止活動を展開することを目的としています。栄小学校校区では、3カ所で行われました。

【栄小学校西方信号 (FamilyMart 角) 交差点】

【秋永町信号 (市川商会角) 交差点】

【磯山駅前信号 (R23) 交差点】



○情報セキュリティ講座（5年）

12月20日（火）の5限目に5年生が「SNS・ネットの上手な使い方講座」を受けました。この講座は、三重県教育委員会が主催する「SNS・ネットの危険から子どもたちを守る」情報モラル推進事業の一環で行いました。講師の先生は、「津商業高等学校」の生徒みなさんです。SNSトラブル防止をテーマに出前授業をしてくださいました。授業後は小学生が出前授業から感じたこと、考えたことを発表し合うことで、いじめについて理解を深めました。

普段、高校生と接する機会はなかなかありません。授業をする高校生は小学生から見たら立派な「大人」に見えます。5年生のみなさんは、4年～5年後の自分の姿を意識しながら授業を受けることができたと思います。



☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.8

「冬休みの学習について」冬休みにこれだけは押さえておきたい勉強方法

①まずは自宅学習を習慣化する

冬休みは毎日まとまった学習時間を確保できます。学習習慣のない子供にとっては、毎日コツコツと勉強をすることで学習する習慣を身につけることができる期間です。「毎日宿題をしているから学習習慣は大丈夫」と考えてしまうかもしれませんが、学習量が増える小学校中学年～高学年になると宿題をこなすだけでは不十分です。

学習習慣が身につくといくつかのメリットが期待できます。まず、毎日コツコツ学習することで知識が積み重なり、学力の向上が望めます。また、「毎日きちんと学習している」という実績により子供も自信がつくでしょう。毎日コツコツ勉強することが習慣化すれば学習することに苦手意識がなくなり、さらにテストで良い点数がとれれば勉強がますます楽しくなります。

②必要な「親のサポート」と「学習計画」

小学校低学年のうち、自分の意思と行動で学習計画をつくるのが難しいため、保護者の方が学習の内容をチェックしてあげましょう。また、低学年は「読み書き・計算」など基礎的な部分をしっかり固めることが大切です。もし苦手な子供がいれば、保護者の方がしっかりサポートしてあげましょう。時間の空いたときに学習の進捗をチェックし、わからないところは一緒に考えて苦手科目の克服をサポートします。同時に毎日の学習を定着させることができればベストです。

小学校中学年では冬休みはまとまった時間が取れるため、苦手科目の復習ができます。ただし宿題にも取り組む必要があるため、宿題と復習の学習計画表を作成することが重要です。学習計画表といっても分刻みの細かいものは必要ありません。午前中に1時間苦手教科を復習する、夕食後に宿題を1時間こなすなどの簡単な計画でOKです。計画通り勉強できているかどうか時々声をかけてあげる、わからないところは一緒に考えるなど、しっかりサポートができれば子供も心強いです。

中学校への進学が近づいてくる小学校高学年では、自主性を育むことが大切になります。冬休みの前に学習計画表を作成し、それに従って宿題や課題、苦手科目の復習を行うことが重要です。学校側で冬休み前に自主学習表を作成させるケースや、冬休みの宿題の一部として学習計画表を書くこともあります。高学年の場合は自主性を尊重し、時々勉強状況をチェックして「順調に進んでる？」程度の声かけにとどめましょう。